

「シートの併合」機能について

- **シートの併合**コマンドは複数のシートを併合して一つのシートにします。シートはダイアログボックス上で選択した順に併合されます。

① 「ActiveDataワークシートコマンド」グループ内の「ワークシート」から「シートの併合」をクリックします。

② 「シートの併合」ダイアログボックスが開きます。

③ PC上で開いているExcelファイルのシート名が表示されます。併合したいシート名をクリックします。

④ 「追加」ボタンをクリックすると、右側の選択対象画面にシート名が表示されます。「削除」ボタンでシート名を削除することもできます。

⑤ 併合対象シートが表示されます。
※上から順に併合されます。

⑥ 右側のシート名の並び順を変更することができます。

⑦ 2シート目以降のヘッダ(1行目)を省き、併合されたシートが出力されます。

⑧ 列順位が揃っていない複数シートを併合する際、ここにチェックを付すと、自動で同じ列名を識別し、同じ列に併合されます。
※出力される列順は、「② 併合対象シートを選択画面」で最上位に位置するシートの順番となります。
※最上位のシートのヘッダにない列名が他のシートに含まれている場合、併合対象となりませんのでご注意ください。

ダイアログボックスの機能説明:

- 追加(A) >>
- 削除(R) <<
- 上へ(U)
- 下へ(D)
- 最初のシートの1行目のみをヘッダとして取り込む
- 同名のカラムを併合する

選択対象画面のシート名:

- 請求(2010)
- 請求(2009)
- 製造
- 顧客
- 営業担当者(2010)
- 営業担当者(2009)

右側の選択対象画面のシート名:

- 請求(2009) (adataja.xls)
- 請求(2010) (adataja.xls)

「シートの併合」ダイアログボックスの「最初のシートの1行目のみをヘッダとして取り込む」にチェックを付すと、「請求(2009)」シートのヘッダが表示されます。

「請求(2009)」シートのデータが表示されます。

「請求(2009)」シートのデータが表示されます。

併合対象の2シート目以降については、結合元がメモとして格納されます。

	A	B	C	D	E	F	G	H	I
1	請求番号	請求日	顧客番号	営業担当者番号	製品番号	数量	単価	金額	四半期
4255	19987	2009/12/31	10611	6	52	3	447	447	4
4256	19988	2009/12/31	10386	22	32	1	199	199	4
4257	19989	2009/12/31	10372	7	20	1	449	1347	4
4258	19990	2009/12/31	10669	13	53	3	328	656	4
4259	19991	2009/12/31	10451	6	75	2	132.5	397.5	4
4260	19994	2009/12/31	10332	28	22	3	689	1378	4
4261	19996	2009/12/31	10983	16	57	3	499	998	4
4262	19997	2009/12/31	10137	17	25	1	229	458	4
4263	19998	2009/12/31	10368	20	71	2	4090	16360	4
4264	20000	結合元 adataja.xls!請求(2010)	10490	8	8	4	299	1196	1
4265	20001	2010/01/01	10491	4	4	4	279	1116	1
4266	20002	2010/01/01	10704	3	1	3	299.9	899.7	1
4267	20003	2010/01/01	10430	9	9	9	79	796	1
4268	20004	2010/01/01	10841	9	9	9	458	458	1
4269	20005	2010/01/01	10777	1	3	4	229	916	1
4270	20006	2010/01/01	10653	19	58	2	129	458	1
4271	20007	2010/01/01	10413	12	61	3	3429	10287	1
4272	20008	2010/01/01	10654	12	4	3	279	837	1
4273	20009	2010/01/01	10300	1	10	2	279	558	1